

ファンド・マネジメント実務演習

教授 小原英隆

1. 研究内容

新型コロナウイルスは、人が集まり利便性が高い都市文明、資本主義経済、人類に対する危機で、深刻な事態です。約100年前のスペイン風邪は日本で39万人の方が亡くなり、第3波まであり、終息に3年かかりました。With コロナの時代、「新しい生活様式」への対応のため、授業内容をがらりと変えます。望むものではありませんが、この危機を生き延びる方策をとり、将来につなげます。従来マンモスゼミではなく少数精鋭とします。ファンド・マネジャーとは投資信託においてポートフォリオ形成、銘柄選択、統括管理を統括する専門職です。非常に就職口は狭くプロ棋士のように、努力と才能が必要とされる厳しい世界ですが、やりがいがある仕事です。入試や資格のように入り口で受ければ、後は努力賞でなんともの世界ではなく、不断の努力、道を極める姿勢が必要です。人様のお金を数十億、数百億円預かり、ファイナンス理論に基づいた科学的な長期分散投資を行う正統派の運用しか行いません。在学中の現金を使った投資は禁止となります(在学中は仮想シミュレーションによるトレーニングを重ねる)。短期投機やテクニカル分析、チャートによって楽しんで株で儲けようというノリでは全くないので、そういう人を否定はしませんが、当ゼミには適しませんので、別のゼミに入り、自主活動の趣味でやってください。漠然と株が好きで証券会社志望は99%営業となり運用会社とは全く別であり、一度証券会社に入ると二度と運用には回れないので、別のゼミに行ってください。資格の勉強、起業や事業投資やM&A的なことベンチャー・キャピタルは本ゼミでは一切やりません。運用会社への就職は極少数で電通の次の次くらいに難しいので、目指して努力はしますが、当ゼミに入ったとしても保証はできません。本人の力量次第となります。

2. ゼミの進め方

《2年次》

春学期は、実務を重視して金融総合の基礎を学習します。並行して、日本株の仮想シミュレーションを行います。秋学期は、アメリカ株の仮想シミュレーターを用いて、運用のトレーニングを行います。また、多数の大学が参加する運用コンテストである日経ストックリーグや日経平均ダービーに参加し、プロジェクトワークを行います。もし、コロナが完全終息して対面が半期完全に可能な場合は、秋学期はディベートを行います。合宿はなし。

《3年次》

金融に関するテーマで自由研究を行います。並行して、日経新聞主催の学生対抗円ダービーや日経ストックリーグに全員参加し、希望者は金融プロ端末のブルームバーグ社のグローバル投資コンテストに出場します。CFA主催の大学対抗のアナリスト分析大会に参加することもあります。合宿はなし。

《4年次》

さらに発展された研究を行い、論理能力を養います。卒論・合宿はなし。

3. 教材

金融実務に特化したオリジナル教材を無料配布予定。

4. 成績評価の方法

発表当番の時の報告レポートの質とゼミ内での役職などの活動ぶりなどを総合評価して決まります。

5. ゼミ入室試験（選考方法）

選考方法につきましては、Oh-o!Meijiにて、後日連絡します。

6. その他・志願者へのメッセージなど

1で書いたように、例年のゼミと大きく変更するのでご注意ください。ディベートは基本やりません。金融の予備知識、証券アナリスト、FPの勉強の経験、数学は不問です。内容が補完するので連続時限の水曜5限の金融総論を履修し、毎回出席することが義務となります(1年生で単位が取れていれば免除)。学生は学業に勝る用事はないので、試合・部活・遠征による欠席は一切認められず、即F除籍となります。2次募集は、1次と比べて筆記試験・レポートなど条件が厳しくなるので、ご了承ください。